

2022年12月期 第117期 第3四半期 業績概要

2022年11月11日
日東精工株式会社
(証券コード 東証プライム:5957)



2022年3月
健康経営銘柄
2年連続選定

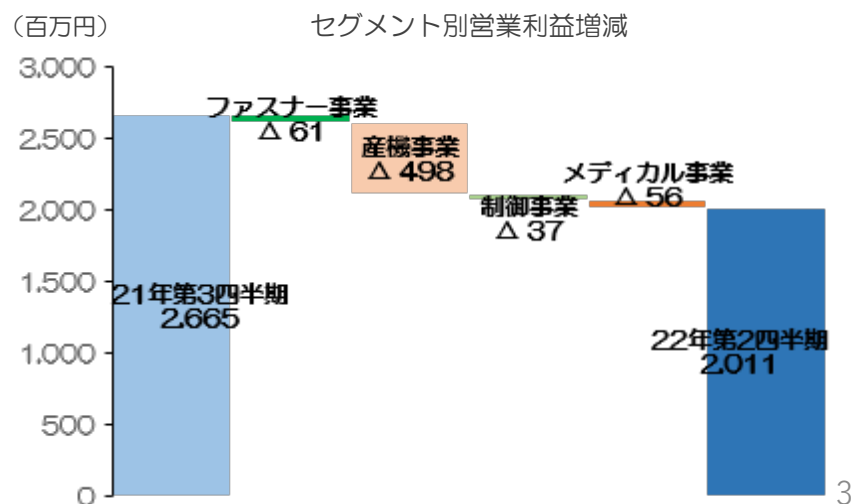
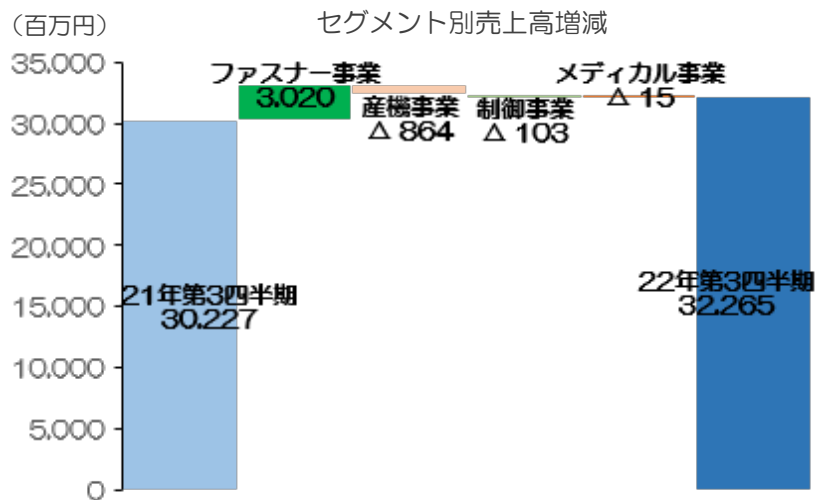
2022年3月
なでしこ銘柄
初選定

単位：百万円／％	21年12月期 第3四半期		22年12月期 第3四半期		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	30,227	100.0	32,265	100.0	2,037	6.7
売上総利益	7,805	25.8	7,631	23.7	△174	△2.2
販売管理費	5,140	17.0	5,619	17.4	479	9.3
営業利益	2,665	8.8	2,011	6.2	△653	△24.5
経常利益	2,837	9.4	2,357	7.3	△480	△16.9
税金等調整前当期純利益	2,959	9.8	2,348	7.3	△610	△20.6
親会社株主に帰属する当期純利益	1,807	6.0	1,462	4.5	△344	△19.1
一株当たり当期純利益（円）	48.98		39.60			

- 主要販売先である自動車関連業界における生産調整の影響を受けたものの、本年4月のケーエム精工、ピニングの連結子会社化により、前年同期比増収。
- エネルギーや原材料価格の高騰、部品不足などの影響により、前年同期比減益。
- 海外は、一部で中国におけるロックダウンの影響を受けたものの、おおむね生産が回復。円安効果もあり、前年同期比増収に寄与。

セグメント別売上高・営業利益（連結）

単位：百万円／％		21年12月期 第3四半期	22年12月期 第3四半期	前年同期比	
				増減額	増減率
ファスナー事業	売上高	20,748	23,769	3,020	14.6
	営業利益	1,215	1,154	△61	△5.0
	利益率	5.9	4.9		
産機事業	売上高	5,501	4,637	△864	△15.7
	営業利益	1,359	861	△498	△36.6
	利益率	24.7	18.6		
制御事業	売上高	3,953	3,849	△103	△2.6
	営業利益	107	70	△37	△35.0
	利益率	2.7	1.8		
メディカル事業	売上高	23	8	△15	△66.2
	営業利益	△17	△73	△56	—
	利益率	△73.0	△919.2		



単位：百万円/%	21年 第3四半期	22年 第3四半期	前年同期比	
	金額	金額	金額	増減率
売上高	20,748	23,769	3,020	14.6
自動車	7,945	8,243	297	3.7
住宅・建築	3,402	4,997	1,594	46.9
電機・電子部品	3,599	4,162	562	15.6
雑貨	1,961	1,907	△53	△2.7
IT・情報機器	939	1,241	302	32.2
精密機器	829	828	△0	△0.1
医療	247	243	△3	△1.6
エネルギー関連	132	110	△21	△16.6
その他	1,694	2,038	343	20.3
営業利益	1,215	1,154	△61	△5.0

- ・ケーエム精工、ピニングの連結子会社化が増収に寄与。
- ・海外は、中国(前年同期比14%アップ)、インドネシア(13%アップ)、マレーシア(24%アップ)をはじめ各国好調な需要となり増収に貢献。
- ・エネルギー高騰などの影響を受け前年同期比で減益。

◆自動車

- ・「アクロース」や「アクロース ハイブリッド」「ギヤ部品」をはじめEV関連部品が拡大基調にあるものの、半導体不足の長期化に伴い横ばい。

◆住宅・建築

- ・住宅向け部品の需要好調に加え、住宅建築向け製品を主力とするケーエム精工、ピニングの連結子会社化により売上増。

◆電機・電子部品

- ・半導体不足の状況にあるものの樹脂用タッピンねじなどの需要が好調。

◆雑貨

- ・コロナ禍で増大したゲーム市場も半導体不足によるメーカー減産の影響を受け微減。

◆IT・情報機器

- ・5G通信関連部品などの需要が好調に推移。

単位：百万円／％	21年 第3四半期	22年 第3四半期	前年同期比	
	金額	金額	金額	増減率
売上高	5,501	4,637	△864	△15.7
自動車	3,217	2,945	△272	△8.5
電機・電子部品	773	379	△393	△50.9
エネルギー関連	565	221	△344	△60.9
IT・情報機器	108	123	14	13.7
住宅・建築	175	99	△75	△43.0
遊技機	42	59	16	39.4
雑貨	26	35	8	33.2
その他	595	776	181	30.5
営業利益	1,359	861	△498	△36.6

- 自動車をはじめ半導体不足に伴う需要先の設備投資の凍結などの影響を大きく受け減収減益。
- 省人化対応に資する新製品を投入するとともに、拡販体制の強化で売上・利益増に向けた今後の巻き返しに期待。

◆自動車

- EV、ECU関連など製造設備の引き合いは多くあるものの、投資は控えめなため前年同期比では低調に推移。

◆電機・電子部品

- 昨年より活況な半導体設備の需要はあるが、主要ユーザーの今期需要は昨年投資より限定的となる。この結果、前年同期比大幅減。ただし、一昨年レベルに落ち着く。

◆エネルギー関連

- 昨年の特需の反動を受け、前年同期比大幅減になるも、一昨年の水準を上回る。

◆IT・情報機器

- 通信基地関連などの需要で堅調に推移。

◆住宅・建築

- 需要先の買い控えの影響が大きく大幅減。

◆遊技機

- 製造設備の更新など一定の需要により堅調に推移。

単位：百万円/%	21年 第3四半期	22年 第3四半期	前年同期比	
	金額	金額	金額	増減率
売上高	3,953	3,849	△103	△2.6
化学・薬品	970	844	△126	△13.0
エネルギー関連	861	644	△216	△25.1
住宅・建築	417	440	22	5.4
自動車	237	262	25	10.7
電機・電子部品	181	212	30	17.0
造船	310	195	△115	△37.1
医療	—	93	93	—
その他	977	1,159	182	18.6
営業利益	107	70	△37	△35.0

- 半導体不足による需要先の生産調整などの影響を受け売上は微減。
- 環境にやさしいマイクロバブル関連装置の拡販や加工部品の内製化などによる低コスト化を努めるも大幅減益。

◆化学・薬品

- 分析機器、流量計の需要はあるものの、半導体不足の影響を受け低調に推移。

◆エネルギー関連

- 分析機器の需要はあるものの、半導体不足の影響を受け低調に推移。

◆住宅・建築

- 地盤調査機「ジオカルテⅣ」への買い替え需要もあり、前年同期比微増。

◆自動車

- 部品検査装置「ミストル」や分析機器などの設備需要が堅調に推移。

◆電機・電子部品

- 半導体不足の影響も流量計や「ミストル」などの需要が好調に推移。

◆造船

- 海運関連の燃費性能規制により流量計などの需要は高いものの、前年同期比大幅減。

単位：百万円／％	21年 第3四半期	22年 第3四半期	前年同期比	
	金額	金額	金額	増減率
売上高	23	8	△15	△66.2
医療	23	8	△15	△66.2
その他	－	－	－	－
営業利益	△17	△73	△56	－

◆医療

- ・コロナ禍による患者数・手術件数の減少が背景にある中、臨床試験機関への販売促進と医療機器販売会社を通じた販路拡大に努めた。
- ・「医療用生体内溶解性高純度マグネシウム材料」の製品化に向けた取り組みと併せて、医療現場のニーズや市場を見据えた新製品開発に着手。

2022年12月期 第3四半期 (連結)貸借対照表

単位：百万円/%	21年12月期		22年12月期 第3四半期		前期末比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
資産の部						
流動資産合計	32,646	64.1	33,092	62.9	446	1.4
現金及び預金	11,415	22.4	8,777	16.7	△2,637	△23.1
受取手形・電子記録債権/売掛金	12,084	23.7	12,921	24.6	836	6.9
棚卸資産	7,926	15.6	10,265	19.5	2,339	29.5
固定資産合計	18,277	35.9	19,514	37.1	1,237	6.8
有形固定資産	13,092	25.7	14,157	26.9	1,065	8.1
無形固定資産	1,281	2.5	1,149	2.2	△131	△10.3
投資その他の資産	3,904	7.7	4,207	8.0	303	7.8
資産合計	50,924	100.0	52,607	100.0	1,683	3.3
負債の部						
流動負債合計	13,675	26.9	13,629	25.9	△45	△0.3
支払手形・電子記録債務/買掛金	8,069	15.8	8,410	16.0	340	4.2
短期借入金（一年以内返済の 長期借入・社債含む）	2,610	5.1	2,528	4.8	△82	△3.2
固定負債合計	4,546	8.9	4,472	8.5	△73	△1.6
負債合計	18,221	35.8	18,102	34.4	△119	△0.7
純資産の部						
資本金	3,522	6.9	3,522	6.7	—	—
資本・利益剰余金	26,993	53.0	27,842	52.9	849	3.1
自己株式	△1,254	△2.5	△1,246	△2.4	8	0.7
純資産合計	32,702	64.2	34,505	65.6	1,803	5.5